

統計とっとり

平成30年3月1日

第107号

鳥取県地域振興部統計課

TEL 0857-26-7665

FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei/>

平成30年は

住宅・土地統計調査と**漁業センサス**が実施されます



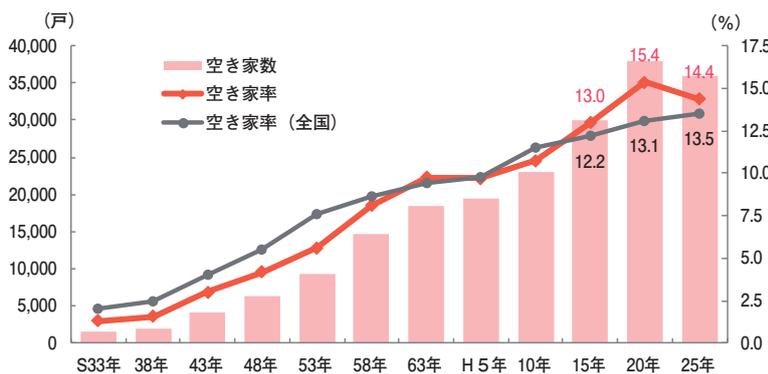
政府統計

平成30年 住宅・土地統計調査（総務省）

住宅・土地統計調査は、住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査で、5年ごとに行われています。

平成30年住宅・土地統計調査は、10月1日を基準日として実施され、全19市町村で**約500名**の調査員の皆さまにお世話になります。

空き家数と空き家率の推移(昭和33～平成25年)



空き家、建築中などの「居住世帯のない住宅」のうち、空き家数について推移をみると、昭和33年の1,500戸から平成20年の38,000戸まで増加を続けていましたが、前回、平成25年には35,900戸となり、初めて減少に転じました。

また、空き家率（総住宅数に占める空き家の割合）も、昭和33年から平成20年まで上昇していましたが、平成25年は14.4%となり、平成20年と比べて1.0ポイント低下しました。



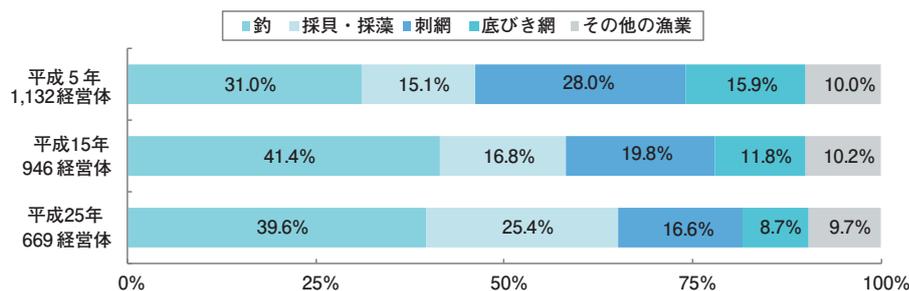
政府統計

2018年 漁業センサス（農林水産省）

漁業センサスは、漁業の生産構造や就業構造を明らかにし、漁村、流通・加工業等、漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握するため、水産業を営んでいる全ての世帯や法人を対象に5年ごとに行われています。

2018年漁業センサスは、11月1日を基準日として実施され、9市町村で**約60名**の調査員の皆さまにお世話になります。

主とする漁業の種類の変遷(平成5～25年)



漁業経営体が主として営んだ漁業種類をみると、釣、採貝・採藻、刺網、底びき網の4種が大部分を占めています。

過去と比較すると、採貝・採藻の割合が増え、刺網と底びき網が減っています。

平成28年に実施された調査の結果を紹介します

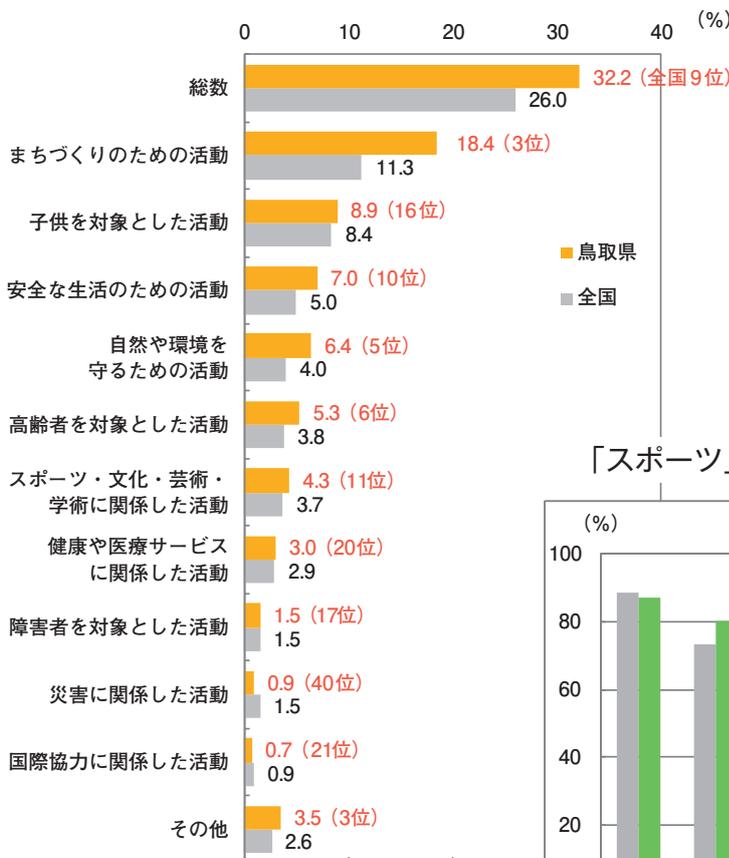
平成28年 社会生活基本調査

社会生活基本調査は、生活時間の配分や自由時間における主な活動について調査し、社会生活の実態を明らかにするもので、5年ごとに行われています。平成28年調査は、鳥取県では約1,500世帯に居住する10歳以上の世帯員が対象となり、10月20日を基準日として実施され、約130名の調査員の皆さまにお世話になりました。

生活行動に関する結果

区分		学習・自己啓発・訓練	ボランティア活動		スポーツ	趣味・娯楽	旅行・行楽
				まちづくりのための活動			
鳥取県	H23	31.5%	33.9%	18.0%	58.5%	80.6%	68.4%
	H28	31.3%	32.2%	18.4%	65.2%	83.1%	68.7%
	増減	-0.2	-1.7	0.4	6.7	2.5	0.3
全国	H23	35.2%	26.3%	10.9%	63.0%	84.8%	73.2%
	H28	36.9%	26.0%	11.3%	68.8%	87.0%	73.5%
	増減	1.7	-0.3	0.4	5.8	2.2	0.3

「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成28年)

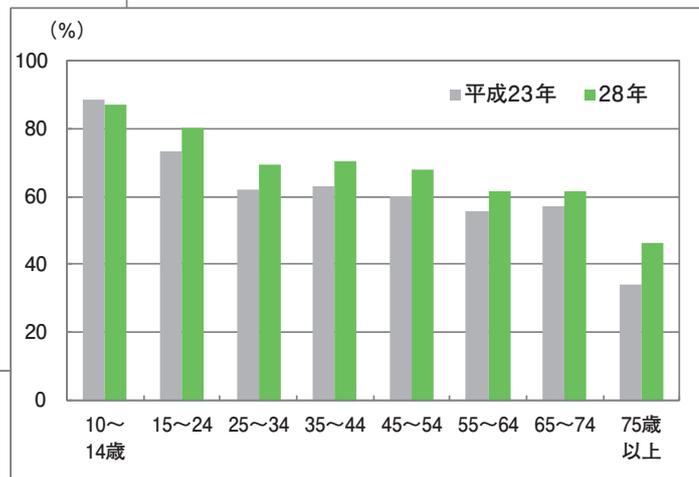


前回調査(平成23年)と比べると、スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽の行動者率が上昇しました。

特に「スポーツ」の上昇幅が全国に比べても大きく、男女ともに「ウォーキング・軽い体操」の行動者率が最も高くなりました。また、年齢別の結果をみると、「75歳以上」で大きく上昇しています。

「ボランティア活動の行動者率」は、前回に比べて低下しましたが、全国に比べると依然として高く、「まちづくりのための活動」は全国第3位となりました。

「スポーツ」の年齢別行動者率(平成23、28年)



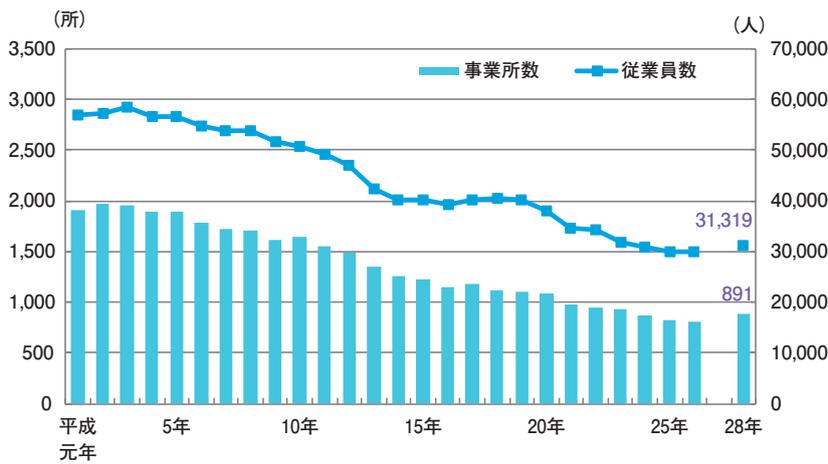
平成28年 経済センサス-活動調査

経済センサス-活動調査は、全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにするもので、平成28年は6月1日を基準日として調査が行われました。鳥取県では約330名の調査員の皆さまにお世話になりました。

調査結果の中から、製造業に関する結果を紹介します。

製造業に関する結果

事業所数と従業者数の推移(平成元年～28年)



※従業者4人以上。平成23年及び平成28年以外は「工業統計調査」の結果。

事業所数 10年ぶりの増加
従業者数 9年ぶりの増加

事業所数、従業者数ともに全国の増加率を上回る。

平成28年の事業所数は891事業所で、前回調査(平成26年)に比べて76事業所増加しました。これは、「生産用機械」16事業所増、「食料品」13事業所増が主な要因です。

また、従業者数は31,319人で、前回調査に比べて1,429人増加しました。これは、「電子部品・デバイス」674人増、「繊維」374人増が主な要因です。

製造品出荷額等 2年連続の増加

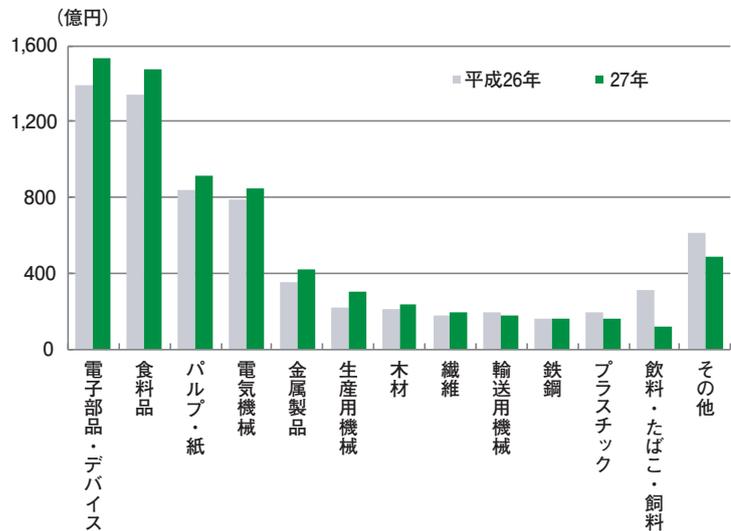
全国の増加率を上回る。

平成27年の製造品出荷額等は、7043億52百万円で、平成26年に比べて239億31百万円増加し、2年連続で増加しました。

産業別の製造品出荷額等をみると、「電子部品・デバイス」が1537億01百万円(構成比21.8%)で、最も大きく、次いで「食料品」が1479億09百万円(構成比21.0%)、「パルプ・紙」が913億61百万円(構成比13.0%)の順となっています。平成26年と比べると「電子部品・デバイス」、「パルプ・紙」などは増加しましたが、「飲料・たばこ・飼料」、「情報通信機械」などは減少しました。

※従業者4人以上。平成26年は「工業統計調査」の結果。

産業別にみた製造品出荷額等(平成26、27年)



経済センサス-活動調査 今後の主な公表予定

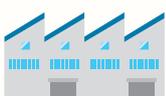
◆事業所に関する集計

平成30年3月 卸売業・小売業に関する集計

平成30年6月 産業横断的集計(事業所数、従業者数、売上(収入)金額等)

◆企業等に関する集計

平成30年6月 産業横断的集計(企業等数、従業者数など)



登録調査員研修を開催しました！

都道府県別登録調査員研修（総務省主催）

従来から実施されている接遇についての講義に加え、昨年度より、パソコンを使った講義が実施されています。

オンライン調査やパソコンの操作に苦手意識のある参加者も多かったですが、皆さんに実際に電子調査票を入力していただきながら時間をかけて講義が進められ、オンライン調査への理解が深まるものでした。

会場・開催日

東部会場（県庁）

8月7日（月）

西部会場（県西部総合事務所）

8月8日（火）

内容

1、講義「統計調査について」

2、講義「統計調査を行うにあたって -接遇・話し方について-」
「オンライン調査の概要について」

3、班別意見交換会

テーマ①「私のヒヤッと体験」 テーマ②「私の心がけ」

統計調査を行うにあたって

◆第一印象を良くする5つのポイント

①身だしなみ ②言葉遣い ③表情 ④立ち振る舞い ⑤あいさつ・返事

第一印象は約7秒で決まると言われています。第一印象は変えることが難しく、良い印象も悪い印象もそのイメージは持続します。一度きりのチャンスととらえ、後で後悔しないようにしましょう！

◆仕事上のマナーの心得

①相手を敬う ②相手に好感を与える ③相手の気持ちを察する ④相手に迷惑をかけない

仕事上のマナーは、ビジネスを円滑に進めるための潤滑油であり、相手を尊重し、信頼関係を築くために必要なものです。

◆コミュニケーションの考え方

自分が何を言ったかではなく、相手にどのように伝わったか。自分が何を伝えたかではなく、相手がどのように受け止めたか。調査活動では、

・どれくらい理解されたか

・どれくらい信用されたか

を常に意識して、適切な話し方、聴き方を心がけましょう。

スタッフのサポートのもと、
就業構造基本調査の電子調査票
(デモ版)に入力しながら
オンライン回答の流れを確認しました！

オンライン調査の概要について

◆インターネット利用状況

現在、人口の8割以上の人インターネットを利用しています。(13～59歳では9割以上)

◆公的統計の現状

現在、統計調査実施の企画の際には、オンライン調査の導入を検討することを原則とされているため、今後オンライン調査はますます多くなっていきます。

◆最近のオンライン調査の実施状況

最近では、平成27年国勢調査、平成28年社会生活基本調査、平成29年就業構造基本調査で実施されました。



登録調査員初任者研修（鳥取県主催）

こちらの研修は、これからの活躍が期待される調査経験の短いかたに受講していただいているもので、講義のほか、ベテラン調査員にも参加してもらい意見交換会を行っています。

会場・開催日

東部会場（県庁） 5月10日（水）
 中部会場（県中部総合事務所） 5月11日（木）
 西部会場（県西部総合事務所） 5月12日（金）

内 容

- 1、講義「統計調査に係る基礎的・実践的内容」
 - ・統計の役割
 - ・統計調査の仕組み
 - ・統計調査員の役割
 - ・統計法規
- 2、講義「不適切な調査活動の事例」
- 3、講義「統計調査結果の活用事例」
- 4、意見交換会
 - 助言者 太田信一郎調査員（東部会場）
 - 山下 征夫調査員（中部会場）
 - 坂田千恵子調査員（西部会場）



意見交換会



◆ベテラン調査員の工夫

- ・連絡メモを活用することが大切。
- ・メモは、相手の目の前で書くようにしている。
- ・訪問時間を季節によって若干変えている。
- ・調査票は、透明なケース等に小分けにして保管し、調査の時はその日の訪問先を決めて余分な調査票は持ち出さないようにしている。
- ・調査票を入れる紙袋は、使用前からテープ等で補強している。
- ・清潔な身なりで調査することを心がけている。
- ・相手方から「この調査は何の役に立つのか」と聞かれることが多いので、事前に勉強しておく。



登録調査員中央研修（総務省主催）

中核的・指導的な役割を担う予定の登録調査員として資質向上を図ることを目的に実施されている研修です。今年度は、湯梨浜町の山田悦弘調査員が参加され、約90名の参加者と研修を受けられました。

会場・開催日

総務省統計局（東京都）
 12月5日（火）～6日（水）

内 容

- 1、講義「信頼される統計とは」
- 2、班別討議「調査活動における成功した事例、失敗した事例、困った事例」
- 3、講義「苦情対応の実践とストレスマネジメント」

来年度の登録調査員研修

<予定>

	対 象	実施時期
①登録調査員初任者研修	経験年数3年未満	5月
②都道府県別登録調査員研修	すべての登録調査員	7～8月
③登録調査員中央研修	・経験年数5年以上 ・平成28～30年度の毎年度、調査活動をされた方	11月末

多くのかたの参加を
お待ちしております！



榮譽に輝く

平成29年春の栄典



藍綬褒章 こだに 小谷 くにこ 邦子 調査員（鳥取市）

平成29年春の褒章伝達に際し、藍綬褒章拝受という榮譽を賜りました。

皇居に参内し、皇太子殿下より労いのお言葉を頂き、この上ない喜びで感慨もひとしおでした。

この榮譽を賜りましたのは、統計課職員の方をはじめ、先輩、同僚の皆さまの長年のご指導と、調査世帯のかたがたのご協力によるもので、この場をお借りし深く感謝申し上げます。

自分たちがしている仕事が、国、地方行政の基礎になっていることに責任と誇りを持ち、頂いた章に恥じないように、これからも精進していきたいと思っています。

平成29年度統計功労者表彰式・統計セミナー

平成29年11月21日（火）倉吉未来中心において開催し、統計に功績のあった調査員や事業所に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰が行われました。



各省大臣表彰は、総務省政策統括官付統計企画管理官付 中村調査官から、鳥取県知事表彰は高橋地域振興部長から伝達されました。



受賞者を代表し、総務大臣表彰を受賞された麻本佳江調査員が「今まで苦勞することもありましたが、本日栄えある表彰を受けることができましたのも、多くの方に御支援いただいたからこそです。」と謝辞を述べられました。

また、藍綬褒章を受章された小谷邦子調査員から慶びのお言葉をいただきました。

表彰式に引き続き、「公的統計をめぐる最近の動向～統計調査員の活性化を中心に～」と題して、中村調査官にご講演いただきました。

講演では、平成29年1月に国で設置された統計改革推進会議の概要や、議論されている統計調査員の活性化についての話がありました。

統計改革推進会議では、今後、マンション管理関係団体等との意見交換を行い、団体側の要望を十分に踏まえた上で、共同住宅における円滑な調査実施を検討することや、大学生を調査員として任用することで、調査員の確保難・高齢化に一定の歯止めをかけることとしてはどうか（複数の自治体で任用実績あり）といった議論がされているということです。



受賞の皆様おめでとうございます

(敬称略、順不同)

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 青木良子 (八頭町)

小売物価統計調査

調査員 岸本康代 (鳥取市)

家計調査

調査員 山内理栄子 (鳥取市)

平成28年経済センサス-活動調査

指導員 麻本佳江 (鳥取市)

調査員 阪本京子 (大山町)

平成28年社会生活基本調査

調査員 松尾和世 (倉吉市)

各種統計調査

調査員 秋吉由紀子 (鳥取市)

調査員 小泉雅子 (鳥取市)

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 因幡環境整備株式会社 (鳥取市)

事業所 日本セラミック株式会社
南栄事業所 (鳥取市)

事業所 水野商事株式会社
千代工場 (鳥取市)

事業所 弓ヶ浜水産株式会社 (境港市)

調査員 遠藤和子 (米子市)

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 柿本富美子 (北栄町)

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 田中勢一郎 (鳥取市)

調査員 橋谷博子 (米子市)

調査員 森田佳子 (米子市)

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 エスフーズ株式会社 (北栄町)
鳥取営業所

事業所 澤谷ゴム株式会社 (鳥取市)

事業所 鳥取東伯ミート株式会社 (琴浦町)

事業所 株式会社松本鉄工所 (北栄町)

事業所 株式会社明治製作所 (倉吉市)

事業所 リコーインダストリアル
ソリューションズ株式会社 (鳥取市)
鳥取事業所

永年従事調査員

調査員 岩佐正巳 (三朝町)

調査員 漆原一榮 (鳥取市)

調査員 漆原文雄 (鳥取市)

調査員 岸本義登 (鳥取市)

調査員 古藤佳子 (北栄町)

調査員 中村美千子 (鳥取市)

調査員 長谷川悦子 (米子市)

調査員 松本知明 (倉吉市)

調査員 都田凱良 (倉吉市)

調査員 山崎綾子 (鳥取市)

統計功労者表彰式の様子が
新聞に掲載されました!



日本海新聞 (H29.12.7)

よろしく
お願いします!

平成30年度に実施される 統計調査(調査員調査)の一覧

(平成30年3月1日現在)

調査名・調査基準日等 市町村	周期調査		経常調査									
	総務省		総務省					厚生労働省		経済産業省		鳥取県
	住宅・土地統計調査	漁業センサス	労働力調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第一種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	工業統計調査	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査
	10/1	11/1	毎月	毎月	隔月	毎月	毎四半期	毎月	7/31	6/1	毎月	毎月
鳥取市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米子市	○	○	○		○			○	○	○	○	○
倉吉市	○		○					○	○	○	○	○
境港市	○	○	○			○		○	○	○	○	○
岩美町	○	○	○	○			○	○		○		○
若桜町	○									○		
智頭町	○		○						○	○		○
八頭町	○		○					○	○	○		○
三朝町	○								○	○		○
湯梨浜町	○	○							○	○		
琴浦町	○	○	○					○	○	○		○
北栄町	○	○	○					○		○		○
日吉津村	○	○							○	○		
大山町	○	○	○					○		○		○
南部町	○							○		○		○
伯耆町	○								○	○		○
日南町	○									○		
日野町	○									○		
江府町	○								○	○		○

注：○印は対象市町村を示す。

“鳥取県統計調査員会”の活動紹介

「鳥取県統計調査員会」は、統計調査員の資質向上、統計に関する普及啓発及び調査員相互の親睦を図ることを目的として平成10年に発足した任意団体です。登録調査員のうち、入会を希望されたかたがたで構成されています。

独自に研修会を開かれたり、国の実施する研修へ参加者を派遣されており、また、統計調査が円滑に行えるよう普及啓発にも積極的に取り組まれています。



10月7日
女と男のハーモニーフェスタ
(鳥取市民会館)



10月17～18日
「統計の日」広報活動
(イオン鳥取北店、倉吉駅、イオン日吉津店)



11月21日
研修会 (倉吉未来中心)